

京都

2025 summer
No.50



いのちと生活を支える環境デザイン
株式会社 内藤建築事務所

ARCHITECTS

京都

2025年summer号 VOL.50 令和7年7月15日発行

目次

トピックス 受賞報告 『一般社団法人 日本免震構造協会 第26回 日本免震構造協会賞 技術賞』
知多半島総合医療センター

実績紹介 大同老人保健施設 ……………(愛知県)
知多半島総合医療センター……………(愛知県)

京の路地裏探訪 「六道珍皇寺」

表紙の写真 花街『島原』

竣工日より(令和7年3月～令和7年5月竣工) 令和7年5月末現在

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
愛知県	西三河総合庁舎	改修 SRC-10/1	22,801	5.8～7.3
大阪府	岸和田えんげる保育園	新築 S-3	609	5.10～7.3 (保育所棟は6年6月完成)
京都府	学校法人聖ヨゼフ学園 舞鶴聖母幼稚園	改築 W-1	936	5.12～7.3
山口県	さんみ苑分室ほうふ	新築 S-1	870	6.4～7.3
大阪府	大阪大学(吹田) 接合研多次元造形研究センター 1号館 増改修	RC-3	900(改修) 90(増築)	6.8～7.3
京都府	京都市養正市営住宅 新2号館 新3号館 新築	RC-5	3,365 3,302	5.12～7.5



MACCHA HOUSE 抹茶館
森半の抹茶をふんだんに使用したパフェ

受賞報告

免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術において優れた成果を上げたとして表彰されました

一般社団法人日本免震構造協会「第 26 回日本免震構造協会賞－2025－ 技術賞」を受賞

長周期・大振幅地震動に対応した多段すべり支承「TSB」の開発と実装 知多半島総合医療センター（旧半田市立半田病院）



プロジェクトの背景

愛知県半田市は、太平洋戦争末期の 1944 年 12 月に起こった昭和東南海地震（直近の南海トラフ地震）により、188 名もの犠牲者を出しました。このうち 153 名は旧半田病院の敷地周辺にあった『中島飛行機半田製作所山方工場』の従業員や動員されていた学徒でした。このような歴史的背景から南海トラフ地震に対する半田市の懸念は非常に大きく、新病院の設計においては、南海トラフ沿いの長周期・大振幅地震動に対しても高い耐震性能が求められました。

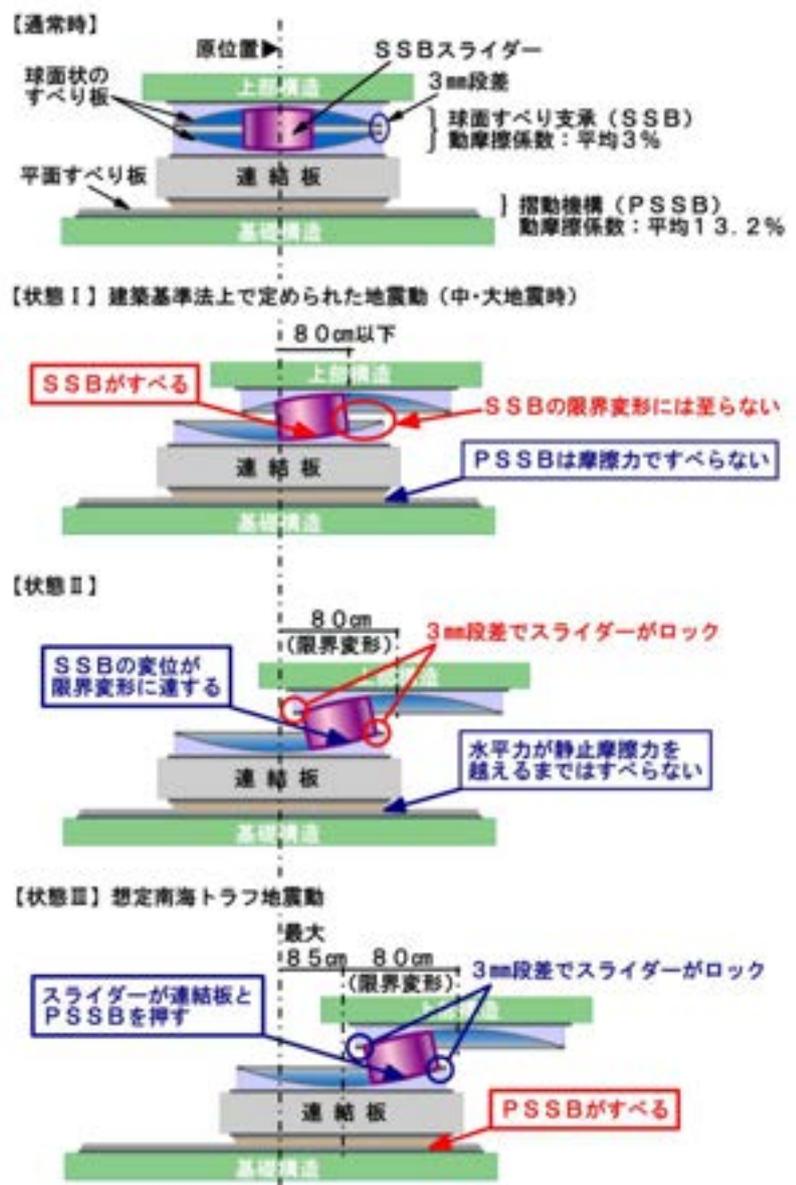
そこで、この巨大地震に対応できる免震システムとして、「球面すべり支承 NS-SBB® (SSB)」の下に「摺動機構 (PSSB)」を直列に組み合わせた多段すべり支承「TSB (Triple frictional Sliding Bearing)」を開発し、新病院に実装しました。

選評

本件で想定された南海トラフ地震動による免震層の応答速度は 150cm/s 以上、応答変位は 150cm に達すると報告されており、既往の免震計画では設計不可能と言っても過言ではない。

このような過酷な条件下でも、小・中地震から巨大地震まで多様な地震動に対して応答低減効果が発揮できる、まさに痒いところに手が届くのが、今回開発された多段すべり支承「TSB」である。

TSB 支承は既存の球面すべり支承と摺動機構を組み合わせた装置であり、それぞれが機能する地震動の条件を適切に分担できる優れた開発として高く評価したい。



多段すべり支承『TSB』のシステム概念図

つなぐ、まもる、寄り添う。
地域に根差す医療・福祉の拠点

◆建築概要
所在地：愛知県名古屋市
建築主：社会医療法人宏潤会
敷地面積：2,834㎡
延床面積：4,759㎡
構造規模：RC造 4F
定員：90名（内30床は介護医療院）
通所リハビリ、クリニックを併設
竣工：令和6年9月



北面外観

■計画概要

本計画は、老朽化した大同老人保健施設を、大同病院にほど近い名古屋市南区・白水エリアへ移転新築することで地域に開かれた医療・福祉拠点の実現を目指しました。

老人保健施設90床（うち30床は介護医療院へ転換）、通所リハビリ、クリニックを併設しており、医療と介護の柔軟な運用が可能となっています。メインエントランスから入ると総合受付、階段・EVが一望でき、利用者にとってわかりやすい構成としました。

外観は水平ラインを強調し、白と黒を基調とした落ち着いた色彩で、先進性と地域との調和を表現しました。内装は各階にアクセントカラーを配し、居室には安心感を重視した穏やかな色調を採用しました。

廊下には腕の曲げ伸ばしに使えるボルダリング壁や、認知症予防を兼ねたカルタ壁を設置するなど、日常の中で楽しく取り組めるリハビリ環境を計画し、利用者の社会復帰を空間面から支援する建築を目指しました。

個室を中心に計画し、「ポストコロナ」「ウィズコロナ」の時代に対応した明確なゾーニングと動線分離、計画的な換気により、感染症の拡大抑止を実現しています。入居者とスタッフ双方の安全性を高めた新しい時代の医療・福祉を提供する施設となっています。



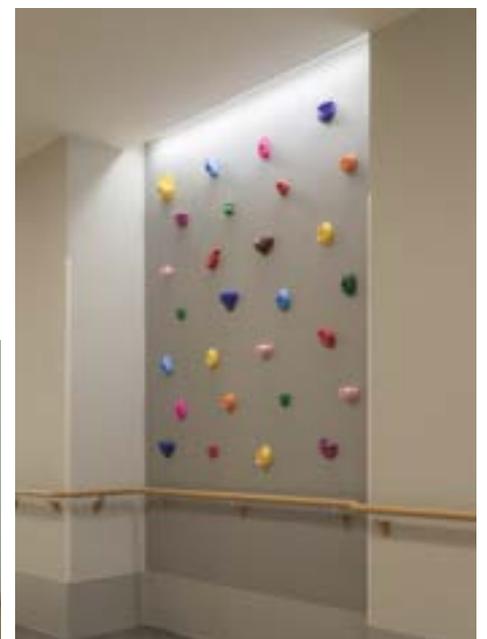
メインエントランスホール



談話 レクリエーション（2階）



居室（4階）



ボルダリング壁（老健エリア各階）



知多半島唯一の三次救急と高度急性期医療を支える強靱な医療拠点

◆ 建築概要

所在地：愛知県半田市
 建築主：半田市
 敷地面積：39,615㎡
 延床面積：44,855㎡
 構造規模：SRC一部S造・RC造
 5F/B1F
 病床数：416床
 竣工：令和6年10月



南東面外観

■ 計画概要

本施設は隣接市の常滑市民病院との経営統合による機能分化の整備方針に基づき、知多半島唯一の三次救急医療と高度急性期医療を支える医療拠点の移転整備です。東垂れの敷地高低差を活かし、3つのレベル(下段・中段・上段)に造成を行い、下段に病院利用者の駐車場、中段に新病院の主玄関を配置すると共にロータリー及びメインアプローチとし、上段は病院職員の駐車場及びサービスと動線を明確に分離したアプローチ計画としています。外観は水平基調のデザインで、市内を流れる運河の石積み岸壁をモチーフにしたランダム張りを一部に採用しています。救急・外来診療機能を1階に集約し、ホスピタルストリートを軸とした利用者にわかりやすい平面計画となっています。病棟は1フロア4看護の井型病棟を採用し、スタッフステーションは各病室への移動距離を最短となる位置に配置しました。構造は基礎免震構造とし、南海トラフ巨大地震が発生した時も医療継続ができるよう免震システムを開発しました。また、ライフサイクルエネルギーマネジメント(LCEM)を活用したエコ・ホスピタルの実現、周辺環境を考慮し外気をすべて屋上から光触媒フィルターを介して取り入れる計画としています。

第26回 日本免震構造協会賞 技術賞 受賞



南面外観



エントランスホール



スタッフステーション（病棟階）



4床室



ホスピタルストリート

六道珍皇寺 Rokudouchinnou-ji Temple



六道珍皇寺は、山号を大椿山（たいちんざん）と号し、創建は、平安時代の延暦（えんりやく）年間（782年－806年）とされ、開山は空海の師にあたる慶俊とされています。かつては真言宗東寺に属していましたが、南北朝時代に臨済宗建仁寺の所属になりました。本尊は平安時代前期、重要文化財の薬師如来坐像です。

寺の付近は、平安京の埋葬の地、鳥辺野（とりべの）の付近に当たることから、冥界との境界「六道の辻」と称され、お盆に帰る精霊は必ずここを通るとされました。「六道」は、仏教において一切の衆生（しゅじょう）が生前の業因（ごういん：善悪の行為）によって赴くとされる地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上の六種の冥界をあらわしています。毎年、お盆に先祖の精霊を迎えるため八月七日から十日の四日間は、「六道まいり」の行事が行われ、大勢の参詣者が、冥土にも響くという梵鐘（迎え鐘）を撞き、精霊をこの世に呼び寄せます。閻魔堂には木造の閻魔大王坐像と冥官（みょうかん：閻魔庁の役人）伝説をもつ小野篁（おののたかむら）の立像が祀られています。



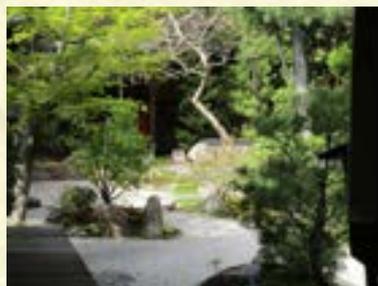
冥界の王、裁判官 閻魔大王



閻魔庁の役人 小野篁



「迎え鐘」外からは鐘は見えません。小さな穴から出ている綱を手前に引いて撞きます。



「冥土通いの井戸」本堂裏庭にある小野篁が毎夜に閻魔庁に出向くときに使ったと伝わる井戸。

平成 23 年(2011 年)に隣接地(旧境内地)からは、小野篁が冥土からの帰路に使ったと伝わる「黄泉がえりの井戸」が発見されました。

京都には上七軒、祇園甲部、先斗町、祇園東、宮川町、島原の六つの花街があります。その花街の源流となったのが島原です。島原は、寛永十八年（一六四一）年に島原の前身「六条三筋町」から朱雀野（しゅしやかの）、現在の島原に移されました。その移転騒動が当時の九州島原の乱を思わせることから「島原」と呼ばれるようになりました。正式地名は「西新屋敷」といいます。島原は、遊宴の場の「揚屋」と、揚屋に太夫や芸妓を派遣する「置屋」からなる分業制をとっていました。揚屋は江戸吉原では、宝暦十年（一七六〇）に完全に消滅しましたが、京の島原や大坂の新町では、大型宴会場へと特化していきました。各藩の武家屋敷の大宴会も角屋をはじめとする揚屋が担いました。幕末になると、角屋は勤皇派の久坂玄瑞や西郷隆盛、坂本龍馬などの密議に使われました。また壬生に近く、新選組の出入りもありました。明治維新後、島原は立地の悪さから次第に寂れ、昭和五十一年（一九七六）京都花街組合連合会を脱退しましたが、平成二十六年（二〇一四）三月、京都市は「京都をつなぐ無形文化遺産」に「京・花街の文化」（「五花街」と「島原」の文化）を選定し、保存・継承が進められています。



揚屋建築の唯一の遺構 重要文化財「角屋」



島原大門（京都市登録有形文化財）



臥龍松を望む「松の間」

「松の間」は、文久3年(1863)9月、新選組初代筆頭局長の芹沢鴨が壬生の屯所八木邸で暗殺される直前に宴会をしていたところです。



臥龍松の庭



重要文化財の「台所」



島原歌舞練場跡



置屋「輪違屋」
京都市指定有形文化財



平成11年11月に嶋原商店街で28年ぶりに行われた太夫道中（「嶋原」は商店街での名称です）。「高」は輪違屋当主の姓の「高橋」が由来とのことです。

内藤建築事務所

■本社

〒606-8202
京都市左京区田中大塚町182
TEL:075-781-4111/FAX:075-701-2423
E-Mail:kyoto@naito-archi.co.jp

■東京本社

〒104-0031
東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング6階
TEL:03-3528-6345/FAX:03-3528-6349
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■本社



■東京本社



■東京事務所

〒104-0031
東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング6階
TEL:03-3528-6345/FAX:03-3528-6349
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■名古屋事務所

〒460-0003
名古屋市中区錦1-7-32 名古屋Sビル5階
TEL:052-212-4645/FAX:052-212-4051
E-Mail:nagoya@naito-archi.co.jp

※名古屋事務所は、2025年7月22日より新事務所に移転します。

「新住所」

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル6階
(TEL、FAX、E-Mailに変更はありません。)

■大阪事務所

〒541-0045
大阪市中央区道修町1-4-6 ミフネ道修町ビル5階
TEL:06-6203-7110/FAX:06-6203-7122
E-Mail:osaka@naito-archi.co.jp

■広島事務所

〒732-0052
広島市東区光町1-13-20 ディア・光町3階
TEL:082-568-5544/FAX:082-568-5545
E-Mail:hiroshima@naito-archi.co.jp

■九州事務所

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-14-16 博多駅前センタービル4階
TEL:092-441-6836/FAX:092-451-4860
E-Mail:kyushu@naito-archi.co.jp

■静岡事務所

〒420-0859
静岡市葵区栄町2-5 アークビル5階
TEL:054-253-6347/FAX:054-255-7859

■奈良事務所

〒634-0078
奈良県橿原市八木町1-7-3 橿原ビル4階
TEL:0744-29-0322/FAX:0744-25-7159

■神戸事務所

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館南山手ビル1階
TEL:078-367-6255/FAX:078-367-6256

■四国事務所

〒781-0806
高知市知寄町2-2-41 知寄町マンション2階
TEL:088-883-4280/FAX:088-883-4272

■南九州事務所

〒890-0053
鹿児島市鹿児島市中央町28-1 GREENLIFEシンガイ中央ビル403号
TEL:099-255-0810

■沖縄事務所

〒905-0011
沖縄県名護市宮里452-1 丸平アパートⅢ102号
TEL:0980-43-6151

■長野営業所

〒381-0043
長野市吉田3-14-17
TEL:026-241-0590/FAX:026-241-1245

■福井営業所

〒918-8112
福井市下馬2-812
TEL:0776-43-6027/FAX:0776-43-6029

■和歌山営業所

〒640-8354
和歌山市北ノ新地東ノ丁1
TEL:073-435-6080/FAX:073-435-6101

■宮崎営業所

〒886-0006
宮崎県小林市北西方3000-1
TEL:0984-27-2485